



# 主なソフト事業の紹介

5つの重点事業の決算について紹介します。

## 1. 健康長寿のまちづくり

### ●入浴料金割引券交付事業（決算額 2,614万円）

高齢者の外出する機会を増やし身体機能の維持・改善を図るため、70歳以上の在宅高齢者に市内19入浴施設で利用できる入浴割引券を、申請により対象者1人に対し24枚交付しました。

▷平成29年度実績 申請者数 12,526人、延べ利用者数 80,040人



## 2. 豊かな人を育むまちづくり

### ●母子・子育て相談事業（決算額 283万円）

平成29年度から本庁健康推進課12番窓口にて「母子・子育て相談窓口」を開設して、専任の保健師が各種の相談に応じています。

▷平成29年度相談件数 1,904件



## 3. 活力あふれるまちづくり

### ●空き店舗等活用促進事業（決算額 1,602万円）

空き店舗等を活用して事業を行う者に、家賃の5/10を月額上限5万円で3年間補助することで、空き店舗の有効活用と事業者の創業を支援しました。

▷平成29年度対象店舗 47(21)件 ※( )内数字は平成29年度の新規件数



## 4. 環境を守り、安全・安心なまちづくり

### ●緊急告知機能付き防災ラジオ等導入事業（決算額 1,093万円）

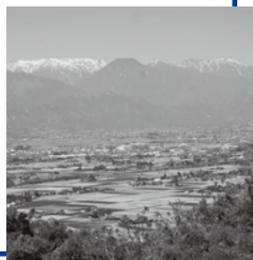
コミュニティエフエムを利用した、告知放送設備である緊急割込み放送システムを平成29年8月より運用開始しました。このシステムは、コミュニティエフエム局に設置されるセンター装置から市民宅に設置された緊急告知機能付き防災ラジオに向けて音声で放送を行い、災害時等における情報伝達の迅速・正確・円滑性を図り、市民の生命財産と安全を確保することを目的としています。



## 5. 協働によるまちづくりと行政サービスの向上

### ●第2次総合計画等策定事業（決算額 784万円） ※平成29年度分

平成30年度を始期とする第2次総合計画を策定しました。同計画は、「第1次安曇野市総合計画」を継承し、さらに磨きをかけ、市民一人ひとりが幸せを実感できる暮らしの実現を図るため、将来都市像に「第1次安曇野市総合計画」と同じく「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」を掲げました。総合計画は市政の根幹をなすものであり、総合計画の実現に向け進捗管理を確実に進めていきます。



# 市の財政を家計に置き換えてみました



金額が大きい一般会計決算額を身近に感じていただくため、年収500万円の家庭に置き換えてみました。

収入		支出	
項目	決算額	項目	決算額
給料や諸手当 (市税・地方交付税など)	305万円	食費 (人件費)	63万円
パート収入 (使用料および手数料など)	43万円	医療費 (扶助費)	71万円
親からの援助 (国庫支出金)	70万円	生活必需品や光熱水費 (物件費・補助費)	154万円
ローンの借り入れ (市債)	57万円	車等の修繕費 (維持補修費)	2万円
貯金の取り崩し (繰入金)	16万円	子どもへの仕送り (繰出金)	41万円
昨年からの繰越金 (繰越金)	9万円	ローンの返済 (公債費)	65万円
合計	500万円	家の増改築費 (普通建設事業費・災害復旧費)	68万円
		友人への貸付金 (出資金等)	12万円
		貯金 (積立金)	18万円
		合計	491万円

差し引き残高9万円  
四捨五入により、合計は一致しません。

収入(500万円)から支出(491万円)を差し引いた残高は、平成30年度に繰り越して使用するよ。



### 市の借金について

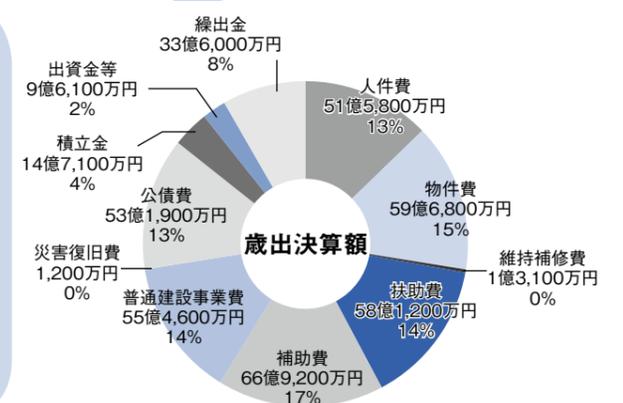
市債の平成29年度末現在高(企業会計含む)は、811億6,700万円。これに対する普通交付税算入見込額(企業会計含む)は、551億8,500万円となることから、市の実質的負担は259億8,200万円となります。

市の借金を一世帯・一人あたりに換算(平成30年4月1日現在の世帯数および人口から算定)すると…

- 一世帯当たり 65万7,706円
  - 一人当たり 26万4,925円
- となります。

### 歳出内訳(性質別)

歳出 404億2,800万円



※100万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。